

特集 「防災」について知る、備える、話し合う。

# 想定にとらわれるな 最善を尽くせ 率先避難者たれ

今一度、防災について  
家族で話し合みましょう。

※湯浅小学校津波避難訓練風景



# 「防災」について 知る、備える、話し合う。

湯浅町では、さる11月11日に内閣府と連携して、町内一斉の防災訓練を行いました。訓練を通して避難経路の確認や災害時の初動対応を繰り返し行うことで地震・津波からの犠牲者ゼロを目指します。



特集 「防災」について知る、備える、話し合う。

**正木明氏** による講演  
命を守るためにしてほしい  
災害に届かないために

平日の朝の顔の正木さん、日曜日に天気予報をすることはあまりないのですが、来場者の目の前で、講演会当日の天気予報を披露してくださいました。また、天気予報の注意点や発表のタイミングなど、正しい活用方法についていねいにお教えてくださいました。

後半は、災害への備え、考え方について。災害時にどうしてもしてしまいがちな間違っただ行動に、警鐘を鳴らし、自助の大切さや、家族を信じて避難するなど、家族が全員生き残るための避難の考え方をご講話いただきました。



防災講演会



訓練の様子

大地震後の津波を想定しての訓練では、一部道路を封鎖しての避難を行いました。道の狭い箇所では、電柱が倒れたり、家が倒壊して道がふさがれるおそれがあります。避難の際は、通れない時の事も考えて、別の避難経路を準備しましょう。



防災訓練の一日の締めくくりは、手を伸ばせば届くのでは、と思うほど近い距離で行われる吹奏楽の演奏会でした。

演奏していただいた陸上自衛

陸上自衛隊第3音楽隊



隊第3音楽隊は、高い技術と迫力ある華麗な演奏で、全国的に人気が高い音楽隊です。

演奏後、会場は大きな拍手に包まれました。

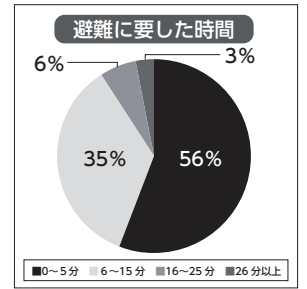
**津波避難訓練参加者数**  
755名

避難にかかった時間は？

- 最も多かったのが、 0～5分 56%
- 次に多かったのが、 6～15分 35%

今回の訓練では、津波が襲来すると言われていて、地震発生から35分以上避難に時間がかかったという方はいませんでした。

しかし、ご高齢の方や障がいのある方、訓練に参加された方でも、地震の際に怪我をしてしまったら、避難に相当の時間がかかることも考えられますので、地域の助け合いがとても大切です。



避難所開設訓練



**避難所生活って？**

避難所は、災害が起こった後、自宅に住むことができなくなった方が、一時的に生活をする場所です。湯浅町では、体育館や学校施設など、被災時の状況に応じて開設することとしています。生活する避難者が主体となつて自主的な運営を行うことが基本となります。

訓練では、開設時の受付作業、段ボールを使った間仕切りやベッドの組立て、救援物資の仕分け訓練、保健師によるエコノミークラス症候群の予防のための講話と体操を行いました。



一時避難場所受付



給水訓練



自衛隊ブース

